

## 「春高ボウリング青森」、女子2種目制覇！

ボウリング部

平成28年3/21(月)～23(水)にアオモリボウル(青森県青森市)で行われた「第19回高等学校ボウリング選手権・青森大会(春高ボウル青森)」において、女子3種目(個人戦・団体戦・選手権者決定戦)のうち個人戦と団体戦の2種目で優勝することができました。

この大会は、全国で高体連に加盟している各府県を順番に開催地としている大会です。昨年は、部員が1年生の内田さん1人になってしまい、この大会にチームで出場することができず、内田さん1人で活躍し、個人戦の準優勝と個人総合にあたる選手権者決定戦での優勝を勝ち取ってきました。

今回、男子6名・女子2名の部員が加わり、**県新人大会(H28年1月)**で女子1チーム(2年内田・1年横山)、女子個人1名(1年岩川)と、男子個人1名(1年加藤)の4選手が「春高ボウル青森」への出場権を獲得しました。

選手権者決定戦の連覇を目指して大会に臨んだ内田さんは、最初の個人戦から好調で前半3ゲームでは、266点を含む合計**711点(大会ハイシリーズ)**で**2位以下を80点以上引き離して1位で折り返しました**。後半3ゲームでもトップの638点を打ち、最終的に2位に134点差をつけてダントツの**優勝**となりました。昨年準優勝だったこの種目でのリベンジを果たしました。1年生の3名も上位には入れませんでした。167～175のアベレージで、慣れない全国大会でまずまずの健闘をしてくれ、チーム横浜南陵としての雰囲気も大いに盛り上がり団体戦に突入することができました。



**2年生の内田さんと1年生の横山さん**で臨んだ**団体戦**前半では、最初の2ゲームは1年生の横山さんが212点、203点と200upを連発しエースの内田さんを引っ張るかたちになりました。前半最後の3ゲーム目には内田さんも本領を発揮し269点のビッグゲームを出すと横山さんも213点で締めくくり、2人の合計6ゲームで1,301点は、個人戦の時と同様に**2位以下を180点以上引き離しての1位折り返し**です。最終日の団体戦後半3Gでは、最初のゲームで2人とも200を切るスコアで勢いが衰えてきたのかと思いましたが、残り4ゲームは全て200up、内田さんには**大会のハイゲーム**となる**275点**も飛び出し、後半合計1298点、前後半12ゲーム合計2,599点は2位以下との差を289点とさらに広げて堂々の**優勝**となりました。



最後の種目は、個人戦と団体戦の合計12ゲームでの個人成績上位者で争う**選手権者決定戦**です。1ゲームマッチで争う、負けたら終わりのトーナメント戦です。この種目に、内田さんが1位(2,724点)、横山さんが7位(2,270点)で進出し、内田さんは1回戦シードで横山さんは14位で進出した同じ神奈川県立の釜利谷高校の選手と戦うことになりました。

**横山さん**は序盤にターキーを出してリードしましたが、後半にミスが続いて逆転をゆるし170対188のスコアで敗退してしまい、惜しくも8位以内の入賞をのがしてしまいました。

**内田さん**は2回戦からの出場で、初戦の相手は横山さんに勝った釜利谷高校の選手です。これを224対173で勝ちあがり、続く3回戦も久御山高校(京都府)の選手に237対221で勝って**決勝に進出**しました。決勝の相手は、内田選手と同じユースナショナルチームのメンバーで岡山商大付属高校の選手です。今大会のここまでのスコアでは圧倒的にリードしていた内田選手ですが、決勝戦のレーンではなかなかストライクになるコースが見つけれず苦しい展開になっていきました。一方、相手選手は3フレーム目からストライクを連発し始めスコアをどんどん伸ばしていきます。結局、最後までレーンをつかめなかった内田選手は161対248で敗れ、この種目の連覇はならず**第2位**で終えることとなりました。

この大会を通じての内田さんの得点は、15ゲーム合計3,346点でアベレージが223点という素晴らしいものでした。大会のハイゲーム(275点)、ハイシリーズ(711点)と**個人戦優勝、選手権者決定戦2位**、そして横山さんと組んだ**団体戦での優勝**は、内田さんだけでなく横浜南陵高校ボウリング部の力を全国に示すものとなりました。

平成28年度は、他の全国大会でも結果が残せるようさらに努力を続けていきますので、応援よろしくお願ひします。



#### 第19回高等学校ボウリング選手権・青森大会「春高ボウル青森」

平成28年3月21日(月)～23日(水) アオモリボウル

女子個人戦(6ゲーム、入賞は8位まで)

優勝 内田侑希(2-1) 1,349

16位 横山由香(1-2) 1,046

22位 岩川奈央(1-7) 1,004

女子団体戦(6ゲーム×2、入賞は8位まで)

優勝 横浜南陵(横山・内田) 2,599

男子個人戦(6ゲーム、入賞は8位まで)

34位 加藤哲弘(1-5) 1,047